

2014年度個人特別研究費A 研究成果概要

所属・職・氏名：関西学院大学社会学部・教授・中野康人

研究課題：新聞読者投稿欄の集積と世論変遷の計量テキスト分析

研究期間：2014年4月1日～2015年3月31日

研究成果概要（2,000字程度）

《目的》

個人を対象とした調査票による社会調査の実施が困難になる現代社会の状況を鑑み、「新たな社会調査」とその分析手法の整備が本研究の目的である。ここでいう「新たな社会調査」とは、新聞紙面などで人々の意見が表明されたテキストをデータ源として利用することをいう。

日刊新聞の読者投稿記事をデータベース化すること、そのデータベースを用いて世論の変遷や職業・年齢との関係などを分析すること、そしてテキストを計量的に分析するプログラミング・分析手法を開発・整備すること、これらが本研究の柱となる。研究期間前半には過去の投稿記事データの入力・整理を中心に行い、後半にはその分析に注力する。ただし、最新の記事データについては随時整備をおこない、また、テキストデータの分析に有効な手法の確立とそのパッケージの開発については、研究期間を通して取り組み、最終的には一般に公開する。

《成果》

まず、1940年代以前の新聞記事データの蓄積作業に着手したが、画像データの品質が悪く、予想以上にテキスト化に時間がかかった。手入力にせよ機械判別にせよ、テキストデータへの変換にかかるコストが高いため、戦前の記事については今年度の作業として網羅的に蓄積することを断念した。

一方、1940年代以降の新聞記事データについては、過年度の研究のなかでデータに欠落があった部分を補完し、朝日新聞「声」、読売新聞「気流」、毎日新聞「みんなの広場」を中心とした読者投稿欄の時系列的データベースの整備を行った。

分析については、wordcloudによる記事内容の視覚化と、感情極性辞書を利用した記事特性の記述を行った。いずれも、データ解析環境 R を利用し、逐次、解析用スクリプトは一般に公開していく。

Rによる分析環境として、データフォーマットの整備を行った。新聞記事に限らず、社会調査の共通データ規格である DDI (data documentation initiative) を援用し、Rにおける社会調査の統合的データ解析環境の構築を目指した。成果の一つは、DDI に準拠するデータを読み込むパッケージ DDIR の開発である。そしてもう一つの成果は、DDI に準拠するデータを作成する統合環境 dlcm の開発である。いずれも、R に関する国外・国内の研究集会において発表した。

最後に、本研究における新聞記事データの時系列分析に関心を持ったオランダ戦争資料館 (NIOD) に赴き、分析手法や分析枠組みに関する議論を行った。それを契機として、読者投稿

のテキスト分析を応用する形で、国会議事録のテキスト分析を行った。これを端緒として、オランダ戦争資料館（NIOD）の協力によって、日本の国会議事録とオランダの国会議事録のテキスト分析を行い、さらに新聞記事データもあわせて分析することにより、戦後の社会状況において特定のトピックが両国でどのように記述され、どのような感情が惹起されたのかを比較研究するプロジェクトが始まった。

- ・"An Integrated Environment for Social Research Analysis," R user conference 2014 (Los Angeles, USA), 2014. 7. 1-3.

- ・"Reproducible Social Research Environment with DDIR and dlcm," 2014 年度統計数理研究所共同研究集会「データ解析環境 R の整備と利用」(立川), 2014. 11. 29.

- ・"Overview of the national Diet of Japan 'Kokkai,' and its proceedings data," WORKSHOP OF QUANTITATIVE ANALYSIS ON HISTORICAL RECORDS, KwanseiGakuin University(Nishinomiya, Japan), 2015. 01. 15.

- ・"Nuclear War' in 'KOKKAI' proceedings data Overview of the national Diet of Japan 'KOKKAI,' and its proceedings data," workshop on quantative analysis of emotions in public and political debate, NIOD(Amsterdam, Netherlands), 2015. 03. 06-09.

研究成果概要は、データで gakunai@kwansei.ac.jp まで提出してください。